

区域内の現況線を消去すること。

任意擁壁がある場合は、その箇所を引出表示すること。

隅切り寸法を表示すること。

施設区別に記号、面積、FH、幅員等表示すること。

共同住宅、店舗等の場合、チェック項目が異なるため、チェックリストを確認し作成すること。

用途界、都市計画施設がある場合は表示すること。

施設区別に凡例を設けて着色すること。

土地利用計画表を表示すること。
＜備考欄＞
・宅地は平均、最小の各面積を表示すること。
・公共施設は公園等の場合、必要となる基準面積を明記すること。
・宅地以外に民有地を計画される場合、管理者を表示すること。

法面を表示すること。
(凡例表示含む)

※法第29条、法第35条2の場合、閲覧用として使用するため1部追加すること。(2部提出)

【開発区域】 土地利用計画表			
区分	用途	面積(m ²)	比率(%)
建築敷地	宅地 (T)-n	8877.73	62.24
	道路 (A)-n	3699.65	25.93
	遊離用通路 (B)	176.44	1.24
	水路 (S)-n	127.02	0.89
	調整池 (M)	603.21	4.23
	児童遊園地 (K)	492.02	3.45
	消防用通路 (F)	0.72	0.01
	防火水源地 (Y)	10.00	0.07
	下水道用地 (P)	50.00	0.35
	ごみ集積所 (G)-n	9.50	0.13
集会所用地 (C)	208.03	1.46	
合計		14264.32	100.00

【開発関連区域】 土地利用計画表			
区分	用途	面積(m ²)	比率(%)
公共施設用地	道路 (ZD)-n	65.31	20.70
	法定外道路 (ZH)-n	227.46	72.10
	法定外水路 (ZS)	22.70	7.20
合計		315.47	100.00

【造成協力地】 土地利用計画表			
区分	用途	面積(m ²)	備考
造成協力地		95.48	
合計		315.47	

凡例	
	開発区域線
	開発区域境界線
	造成協力地
	境界線
	法面(1:1)
	消火栓

事業名	〇〇〇事業
事業場所	大津市〇〇一丁目
事業者	〇〇株式会社
設計者	〇〇株式会社 大津 太郎
図面年月日	令和〇年〇月〇日 前尺 1/300
図面名	土地利用計画面図
頁数	2